

2010年8月16日
東レ株式会社

中国における樹脂事業体制の再編について

東レ株式会社(本社:東京都中央区、社長:日覺昭廣、以下「東レ」)はこのたび、中国における樹脂事業の生産・販売機能を再編します。新たに中国樹脂事業の統括会社として「東麗塑料(中国)有限公司」(Toray Plastics (China) Co., Ltd.(TPCH))、および同社の子会社として、華北・華東地区における樹脂コンパウンドの生産・販売会社「東麗塑料科技(蘇州)有限公司」(Toray Plastics (SuZhou) Co., Ltd.(TPSU))を設立し、本年8月1日より営業を開始しました。

今回の再編では、華南地区における樹脂コンパウンド事業会社である「東麗塑料(香港)有限公司」(Toray Plastics (Hong Kong) Ltd.(TPHK))を新たに中国樹脂事業の統括会社と位置づけ、『TPCH』と改称しました。同時に、蘇州の樹脂コンパウンド生産子会社である「東麗吉祥塑料科技(蘇州)有限公司」(Toray Jixiang Plastics (SuZhou) Co., Ltd.(TJPS))に新たに販売機能を設置し、中国華東・華北地区で生販一体のオペレーションを行うTPCHの子会社として『TPSU』と改称しました。なお、「東麗塑料(深圳)有限公司」(Toray Plastics (Shenzhen) Ltd.(TPSZ))については従来通り、華南地区におけるTPCHの樹脂コンパウンド生産子会社として運営していきます。

今回の再編は、グループ樹脂事業の成長拡大戦略の一環として実施するものです。東レはTPCHを中国におけるグループ樹脂事業の中核拠点として位置づけ、現地生産拠点であるTPSUとTPSZをその子会社とする一体的運営を推進し、成長著しい中国市場において樹脂事業のさらなる拡大を目指します。

東レは新体制の発足により、中国市場における当社樹脂製品の生産・販売・開発・技術サービスの各機能を一元化することで、より効率的、かつ機動的な事業運営を図ります。今後さらに販売、技術サービス体制を強化することによって既存商圏を拡大するとともに、中国国内市場を中心に新規販路の開拓を推進していきます。一方、生産体制についても拡充を加速し、ナイロン、PBT(ポリブチレンテレフタレート)、およびPPS(ポリフェニレンサルファイト)など高機能樹脂のコンパウンド比率を拡大します。また、技術開発機能も強化し、中国の市場ニーズに対応した新グレードを拡充していきます。これらの取り組みにより、総合樹脂メーカーとして幅広く、かつ迅速に、お客様にソリューションを提供してまいります。

東レは引き続きマーケットニーズに的確、迅速に対応できるグローバルオペレーション体制を強化していくことで、中国・アジアにおける樹脂のメジャープレイヤーとしてのプレゼンスを一層強化してまいります。

以上

<新会社概要> (2010年8月1日現在)

東麗塑料(中国)有限公司 Toray Plastics (China) Co., Ltd. (TPCH)

1. 事業概要: 中国地区における樹脂事業統括業務、
および華南地区における樹脂製品の製造・販売。
(100%子会社の「東麗塑料(深圳)有限公司」(Toray Plastics
(Shenzhen) Ltd.(TPSZ)で製造。)
2. 社 長: 山脇 良庸 (東レ出身)
3. 出 資: 東レグループ 100% (東レ株:96.4%、東レ香港(THK):3.6%)

東麗塑料科技(蘇州)有限公司 Toray Plastics (SuZhou) Co., Ltd. (TPSU)

1. 事業概要: 華東・華北地区における樹脂製品の製造・販売。
2. 董 事 長: 山脇 良庸 (TPCH 社と兼任)
3. 出 資: 東レグループ 100% (TPCH:90%、東麗(中国)投資(TCH):10%)

以 上